

自分の人生は 自分の手で 切り拓ひらこう



人 生なんて考えつめるほど深刻じゃない…
…かといって考えただけでわかるほど甘くもない。
梅田晴夫『未知なるもの』

生 生きるということは、心の中の未知のものを追求して、自分が自分自身になることだ。
福永武彦『風土』

人生とは…

人 生とは、切符を買って軌道の上を走る車に乗る人にはわからない。
モーム

生 まれるのはだれでも生まれる。死ぬのはだれでも死ぬが、生きるということだけは、これは千人が千人、万人が万人みなちがった生き方をする。
野上弥生子『生きるということ』



「夢をもちたい」という願い

あなたは、この投書を読んでどう感じ、考えましたか。
あなた自身のことと照らし合わせて返事を書いてみましょう。

自分の夢をもつには
どのようにしたら
よいのだろう。

私からのメッセージ

中学生のころは、あれもやりたい、これもしてみたいと、自分自身のたくさん未来像がありました。ところが高校生になってみると、どれも実現が難しいものだという気持ちになりました。いま、私には夢がありません。この先どのような目標を立て、どのように生きていけばよいのか…。進路の問題も、はっきりした夢や目標がない状態では、なかなか結論を出すことができません。自分の将来に、あせってしまえばかりです。夢は心の酸素だと思えます。夢のない毎日はずっと生きていけないのと同じように、人間は夢なしではきっと生きていけないのでしょう。夢をもってがんばる友達の目が輝いているように、とてもまぶしく感じます。

(高校生の投書より)



夢や理想をもち それに向かって一歩一歩進んでいく姿は たのもしなもの

でも、現実にはなかなか思いどおりにいかないものです。
理想の実現に向け、自分の人生を切り拓くために何が必要なのでしょう。

(((あなたのつづやき)))

(((あなたのつづやき)))

(((あなたのつづやき)))

学ぶことの意味を
真剣に考えようと
しているか?

わからないことを
わかろうとする気持ちが
強いだろうか?

「どうせ無理だ」と
あきらめていないか?

「こんなもんでいいや」と
妥協していないか?

理想を実現したいと
強く願っているか?

志を立てるのに 遅すぎるということは決してない

(ボールドウィン:イギリスの政治家)

江戸時代に、日本の地図を作成した伊能忠敬が、学問への志を抱いて江戸へ出たのは寛政七年(一七九五年)、実に五十歳のときでした。そのうち全国を測量してまわり、後世の貴重な資料となる多くの地図を完成させたのです。彼は、当時なら隠居してしまう年齢で「志」を立て、人生を二度生きたような人物でした。

何歳であったとしても夢や理想を掲げ、ことをためらってはいけない。何事も無理だとあきらめてはいけません。



あなたの夢や理想を実現するために
いま、どうすることが大切なんだろう

あなたの思いをまとめてみましょう。

● 周囲の人からのアドバイス

_____ から

_____ から